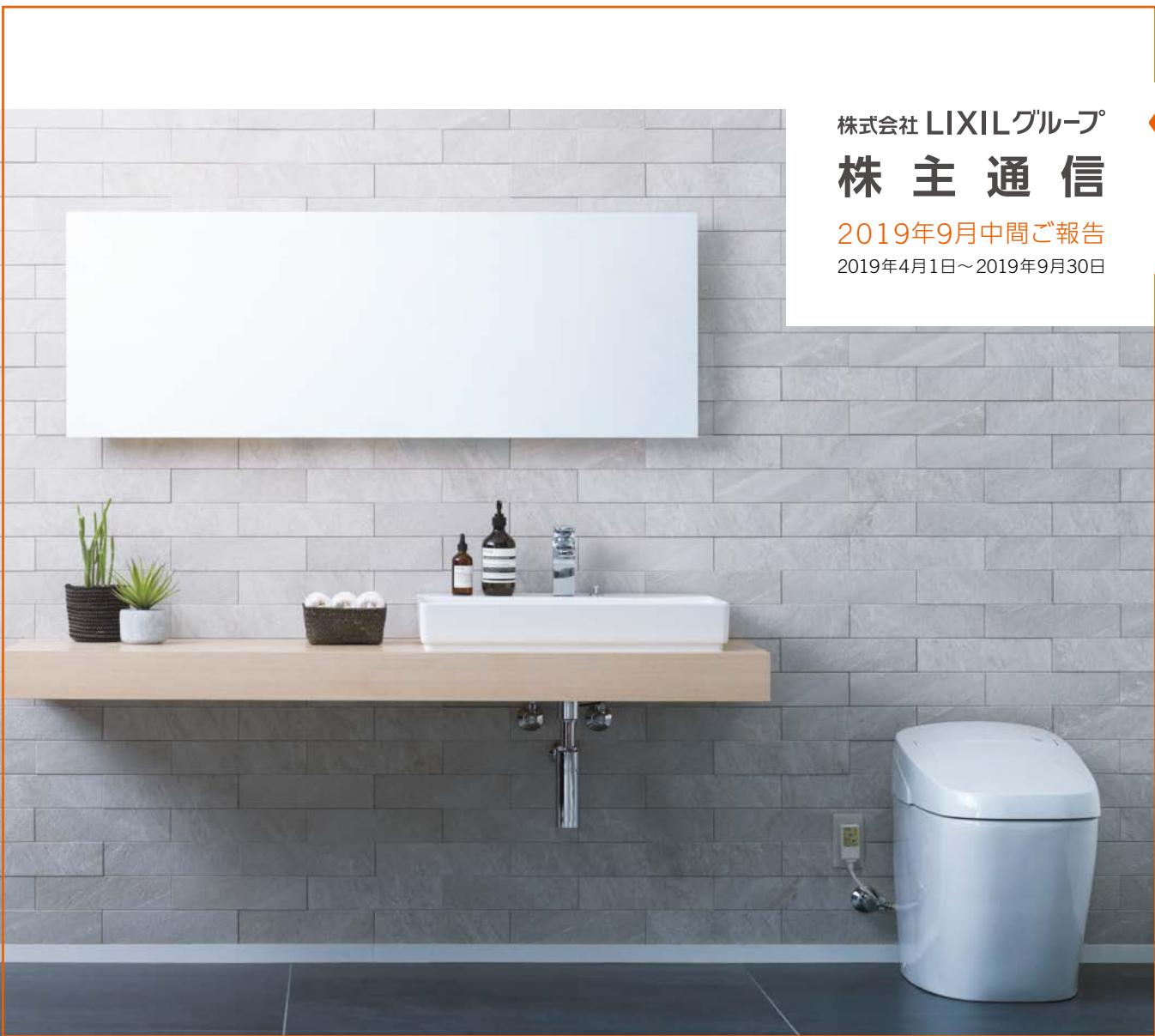


株式会社 LIXILグループ

株 主 通 信

2019年9月中間ご報告

2019年4月1日～2019年9月30日



目次

社長メッセージ	02	株主さまアンケート結果	16
LIXILだからできること	05	株式の状況	17
営業報告	11	会社概要	18
セグメント情報	12	株主優待のお知らせ	裏表紙

LINK TO GOOD LIVING



表紙:トイレ/サティスG(INAX)、洗面器/ワイドスクエアボウル(INAX)、タイル/エコカラットプラス(INAX) P01:左 カーテン/Sumiko Honda「日ざし あふれて」(川島織物セルコン) 上段左より:窓 LW(TOSTEM)、バスルーム(グローエ) 下段左より:キッチン/アレスタ(LIXIL)、エクステリア/GARDEN ANNEX(exsior)

社長メッセージ

One LIXILとして さらなる飛躍を 目指します

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

瀬戸欣哉



株主の皆さまのご支援のおかげで、私がLIXILグループの社長に復帰してから約5ヵ月が経過しました。この間、新しい経営体制のもとで、会社は落ち着きを取り戻し、全社で事業に集中できるようになっています。

上期の決算概要と通期業績予想

当上期の業績は、国内における好調な需要環境が後押しして、増収増益の

好調な結果となりました。

国内事業については、前年同期が相次ぐ自然災害の影響を受けたのに対し、当上期は旺盛な国内需要を取り込むことができました。特に、消費税増税前のリフォーム需要の高まりや今年1月～3月での新設住宅着工件数の増加が売上増につながり、ハウジングテクノロジー(建材事業)とウォーターテクノロジー(水まわり事業)が

社長メッセージ

第2四半期累計(上期)の実績および通期の業績予想

(単位:億円)

	第2四半期累計(上期)実績			通期実績・予想		
	19年3月期 上期実績	20年3月期 上期実績	前年同期比	19年3月期 実績	20年3月期 予想	前期比
売上収益	8,882	9,255	4%	18,326	18,500	1%
事業利益	138	345	150%	128	470	267%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△86	231	—	△522	150	—

※この上期は業績予想を公表していませんでした。

成長をけん引しました。特に国内ハウジングテクノロジーでは、売上増加と生産プラットフォーム化の進捗による生産効率改善により、事業利益率が大きく向上しました。

海外事業は、現地通貨ベースで増収を達成したものの、円高ユーロ安の為替の影響などにより減収となりました。一方、事業利益は、為替の影響を受けたものの、マーケティング等一部施策の後ろ倒しとセールスマックスの変化に伴い、増益となりました。

ビルディングテクノロジーでは、今春に策定したペルマステイリーザ社

の再生計画の実行を進めており、厳しい事業環境が続いているものの、計画通りに進捗しています。これからもペルマステイリーザ社の経営陣と密接に連携しながら再生計画を実行し、収益力の回復を目指します。

当上期において、子会社・関連会社の売却益を合計125億円計上したこともあり、親会社の所有者に帰属する当期利益は前年同期比318億円増加の231億円となりました。子会社等の売却は、バランスシートの改善と組織の簡素化の戦略に沿ったものです。

通期業績予想については、日本で

の消費税増税後の需要減の影響、および中期経営計画で施策が遅れている部分を取り戻していく状況を見極める必要があるため、据え置きとしました。

ビジョンと最優先すべき取り組み

私のビジョンは、従業員のすべての仕事において顧客志向を徹底し、LIXILグループを真に差別化された唯一無二の企業へと変革することです。お客様がまだ気付いていない課題の解決策を提供するために、従業員が目的意識を持って行動し、より迅速に

イノベーションを起こすことができる機動力のある組織になる必要があります。それはまた、外部環境の変化に左右されず、成長を実現できる組織に変化することでもあります。

その実現に向けて最優先すべき取り組みは、日本事業の活性化です。当社グループは、日本で開発された技術や高付加価値の商品を、海外へ展開することでシナジー効果を最大化することができます。つまり、日本を変革することは、LIXILグループのすべてのビジョンを達成する上で必要不可欠です。優れた能力を持つ人材を、年齢や性別等にかかわらず早くから責任あるポジションに登用する企業文化を醸成するとともに、従業員みながより自分らしく、効率的に働けるようになるため組織を活性化していきます。

もう1つの優先的な取り組みは、地域間の連携と戦略的イノベーションを通じて、グローバルな成長をさらに加速することです。当上期は、シナジー関連商品と新規事業の売上増が、海外事業の売上成長の大半を占めています。ウォーター・ハウジングの海外

事業を統括するLIXIL Internationalは、この取り組みを加速し、世界をリードする水まわり商品のプロバイダーを目指すにあたり、重要な役割を担います。

ESG(環境、社会、ガバナンス)への取り組み

持続的な成長を実現するためにESGへの取り組みをこれまで以上に強化していきます。LIXILグループは今年、世界的な社会的責任投資指標であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスの構成銘柄に初めて選定されました。(P10ご参照)また、このたびCO₂排出量の削減目標を計画より2年前倒しで達成し、新しい「環境ビジョン2050」を発表しました。2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指す世界共通の目標に合致させるほか、水資源の保全や持続可能な資源利用の分野も強化します。この点も踏まえ、今後も事業戦略とコーポレート・レスポンスビリティ戦略をより一体化させていきます。

新本社への移転・集約

東京都江東区のLIXIL WINGビルに、4つ目となる新棟が竣工し、11月に本社機能を移転・集約しました。新本社では、全館フリーアドレスを導入し、役員も原則として個室を設けず、従業員と同じフロアで執務するなど、オープンなコミュニケーションを促進していきます。また、所属部署にかかわらず、誰もが開発中の商品を試することができるエリアを設置するなど、従業員の多様な声を商品開発にも生かしていきます。

株主の皆さまへ

LIXILグループにとって重要なことは、これからも長年にわたって、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいの夢を実現し、それによって持続可能な成長を遂げることです。経営陣および従業員が同じ方向を目指し、力を合わせることで、これを達成することができると思っています。

株主の皆さまには、引き続き、温かいご支援と叱咤激励のほど、よろしくごお願い申し上げます。

新しい発想で 社会問題の解決に取り組む

— 社会課題解決に向けた製品開発 —

いつでも快適で使いやすいトイレを。

INAX災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」

前回の株主通信でご紹介して大きな反響をいただいた「レジリエンストイレ」は、2019年度グッドデザイン賞のグッドフォーカス賞【防災・復興デザイン】を受賞し、また、第13回キッズデザイン賞の〈子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門〉において、経済産業大臣賞も受賞しました。このトイレは平常時5L、災害時1Lの水で洗浄可能*な状態に切り替えられ、いつもと使い勝手が同じトイレということが最大の特長です。災害時には学校が避難所となるケースが想定されるため、本トイレが実際に設置されている和歌山県の小学校では、児童を対象に防災授業を行いました。

*洗浄ハンドルの操作時間が約1秒の場合。操作方法により実際の使用水量は変化します。



防災授業の様子



再配達率削減で人にも環境にも貢献。

IoT宅配ボックス 実証プロジェクト実施

東京都江東区・江戸川区で進めている『IoT宅配ボックスによる再配達削減「CO₂削減×ストレスフリー」実証プロジェクト』で、2019年5月よりモニター調査を実施しています。今回、7月までの中間結果では、再配達率が41%から16%に減少し、約141時間の宅配事業者の労働時間削減と約301kgのCO₂削減となりました。最終結果は2020年春頃に発表します。

IoT宅配ボックスによる再配達削減
「CO₂削減×ストレスフリー」
実証プロジェクト

IoT宅配ボックスの導入による再配達率

41% ⇒ 16%

宅配事業者の
労働時間削減

約 141 時間

CO₂削減量

約 301 kg



参加モニター100人に聞きました！

満足度
93.9%
との声を
いただきました

■ 生活の変化や効果について

1. 荷物受け取りのためのスケジュール調整の
手間がなくなった 93人
2. 不在票を見るストレスが減った 88人
3. 今までより気軽にネットショッピングが楽しめるようになった 75人

■ 満足した機能・特徴

1. スマートフォンでの荷物受け通知 82人
2. 荷物の投函・取り出しなどの履歴機能 74人
3. スマートフォンと宅配ボックスの通信機能 53人

誰でも気持ちよく料理を楽しめる。

車いす対応キッチン「ウエルライフ」

LIXILでは、長年、子どもからお年寄りまでひとりひとりが豊かで快適な住生活を送れるよう、様々な視点からアイデアを取り入れて、ユニバーサルデザインに配慮した製品やサービスをつくり出してきました。キッチン「ウエルライフ」もそのひとつです。車いすを使う方や、立ち仕事をづらいと感じる方が座った姿勢のまま、快適に料理ができるよう考えられたキッチンです。





おもしろいと、おもてなしで、 未来を変えよう。

東京2020パラリンピック聖火リレー プレゼンティングパートナーに決定

株式会社LIXILは、このたび、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020パラリンピック聖火リレープレゼンティングパートナーシップ契約」として契約を締結しました。

またLIXILは、東京2020パラリンピック聖火リレートーチの「素材の製造」を担当しています。役目を終えた東日本大震災の被災地の仮設住宅の窓などのアルミ建材を回収して、LIXIL下妻工場（茨城県）で溶解し、パラリンピック聖火リレートーチの素材となるピレット（金属塊）を鑄造しました。これを提供することで、たくさんの想いを形にして残し、未来へとつないでいきます。



仮設住宅の窓などを再利用



聖火トーチの素材となるピレット



画像提供：Tokyo2020



東京2020
オリンピックを
応援しよう!

「LIXIL 秋のショールームフェア2019」で 東京2020オリンピック観戦 ペアチケットが抽選で当たる!

LIXILショールームで対象商品をお見知り・ご成約の上、ご応募いただいた方の中から抽選で100組200名さまに、東京2020オリンピック観戦ペアチケットが当たります。

ご応募いただく観戦チケットは、競泳男女決勝や体操競技男子団体決勝を含む28試合の中から、ご希望の試合をお選びいただくことができます。観戦チケットには両国ビューホテル（東京）のペア宿泊（ツイン）がついています。

「LIXIL 秋のショールームフェア2019」概要

- 期 間 … 2019年10月1日(火)～2019年12月27日(金)
- 場 所 … 全国92カ所のLIXILショールーム
- 開催時間 … 10:00～17:00
- 休 館 日 … 毎週水曜日(祝日の場合は営業)
※ショールームにより休館日・年末の営業日が異なります。
LIXILホームページをご確認ください。
- 応募期間 … 2019年10月1日(火)～2020年2月29日(土)
当日消印有効
- 応募条件 … 2020年3月31日(火)までに、お客さま宅に対象商品の設置が完了。
- 応募方法 … LIXILショールームでお見知り時にお渡しする専用ハガキでご応募ください。

**LIXIL 秋の
ショールームフェア
2019** フェア開催期間 2019.10.1(火)～12.27(金)

フェア対象商品のご採用で当たる!

**東京2020
オリンピック
観戦ペアチケットを
抽選でプレゼント!** 合計 100組 200名様

期間中、フェア対象商品をLIXILショールームでお見知り・ご成約、2020年3月31日(火)までに商品を設置いただいたお客さまに抽選で東京2020オリンピック観戦ペアチケット(宿泊ホテル付)をプレゼント!是非この機会にLIXIL商品のご採用をご検討ください。



競技

- ・テニス・アーティスティックスイミング デュエット・競泳
- ・卓球・体操競技・野球・柔道・レスリング・フェンシング

(対象となる試合・日程・会場は下記ウェブサイトでご確認ください。)

キャンペーンの対象商品や応募対象の試合の詳細は、ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.lixil.co.jp/showroom/fair/>



サステナビリティへの取り組みを積極的に推進

「LIXIL観光地トイレ おもてなし清掃」で地域社会に貢献

「LIXIL観光地トイレ おもてなし清掃」は、各地の自治体の皆さまのご協力のもと、住宅業界関係の皆さま、各地区の学生さんなどと連携し「日本の観光名所にある公共トイレに訪れる国内外の観光客の方々への“おもてなし”として、“清潔なトイレで迎えたい」という思いを込めて、2014年に四国エリアから活動がスタートしました。6回目となる今年は対象エリアをさらに拡大し、全国29都道府県、60エリアで、約2,000名の社員や関係者さまが参加し、活動を実施しました。地域の誇りであり財産である観光地のトイレを清潔にすることで、日本の美しい景観を守るとともに、多くの方に心地よい記憶として留めていただきたい、という思いで、参加者が年々増加しています。

LIXILは今後も観光地トイレ清掃活動や地域交流を通じて、日本の“おもてなし”の心を育み、地域社会へ貢献します。

2019年
29都道府県
60エリアで
活動実施

TOPIC 01 ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスの構成銘柄に初選定

LIXILグループは、世界的な社会的責任投資指標であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス*の構成銘柄に初めて選定されました。これは、世界の主要企業の持続可能性(サステナビリティ)の評価結果を基に、業種別に上位10%の企業のみが選定されるものです。LIXILグループでは、サステナビリティの要素を事業戦略に組み込み、組織や地域の枠を超えた取り組みを強化しており、こうした成果が今回の選定につながりました。また昨年に引き続き、アジア・太平洋地域版のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジアパシフィック・インデックスの構成銘柄にも、3年連続で選定されました。

https://www.lixil.com/jp/news/pdf/190919_DJSI_J.pdf

TOPIC 02 「PRIDE指標2019」において、3年連続で最高位「ゴールド」を受賞

株式会社LIXILは、LGBTなどの性的マイノリティに関する取り組み評価指標「PRIDE指標*」において、3年連続で最高評価の「ゴールド」を受賞しました。さらに、受賞企業・団体の中から特に先進的で顕著な活動を行った企業として、本年度ベストプラクティスとして選出されました。LIXILでは、「多様性の尊重」をコーポレート・レスポンスビリティ(企業の社会的責任)における優先取り組み分野の一つとして位置付け、グループ全体でダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。

<https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2019101101.pdf>

MEMBER OF
Dow Jones Sustainability Indices

In collaboration with  a RobecoSAM brand

※米国S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社と企業のESGデータの分析・調査を行うスイスのロベコSAM社が提携して開発した指標で、経済・環境・社会の3つの側面から企業を分析し、持続可能性に優れた企業を選定するものです。

work with Pride



※「PRIDE指標」は、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が、企業・団体などの枠組みを超えてLGBTの方々が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目指し、2016年6月に策定した指標です。

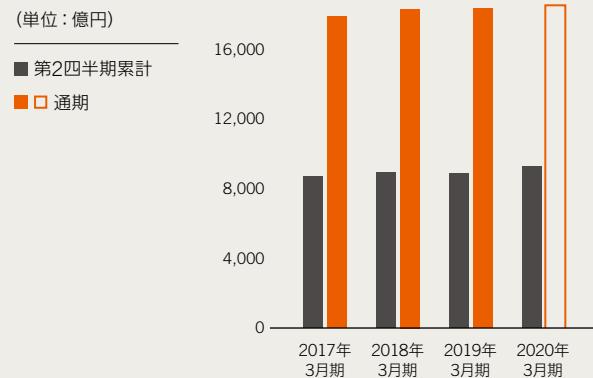
営業報告

主な経営指数の推移(連結、国際会計基準)

	当第2四半期 累計期間 自2019年4月 1日 至2019年9月30日	前第2四半期 累計期間 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	前期 自2018年4月 1日 至2019年3月31日
売上収益(億円)	9,255	8,882	18,326
事業利益*(億円)	345	138	128
営業利益(億円)	321	147	△150
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益又は損失(億円)	231	△86	△522
資本合計(億円)	5,620	6,388	5,672
資産合計(億円)	21,173	20,947	20,595
営業活動によるキャッシュ・フロー(億円)	603	114	694
投資活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△75	△323	△723
財務活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△940	16	16
現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高(億円)	1,004	1,235	1,414
親会社所有者帰属持分比率(%)	24.9	28.9	25.9
親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%)	—	—	△9.1
基本的1株当たり四半期(当期)利益又は損失[EPS](円)	79.75	△29.76	△179.98
1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円)	1,818.35	2,085.95	1,839.59
1株当たり四半期(年間)配当金(円)	35	35	70

*日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費

売上収益の推移



事業利益の推移

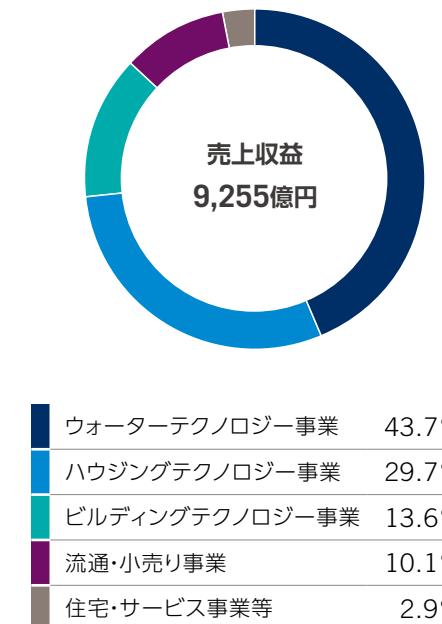


セグメント情報

セグメント別の営業状況

	当第2四半期 累計期間(上期) (億円)	前第2四半期 累計期間 (億円)	前年 同期比 (%)
売上収益	9,255	8,882	4.2
ウォーターテクノロジー事業	4,108	4,020	2.2
ハウジングテクノロジー事業	2,791	2,570	8.6
ビルディングテクノロジー事業	1,276	1,303	△2.1
流通・小売り事業	952	878	8.4
住宅・サービス事業等	268	262	2.3
(調整額)	△140	△151	—
事業利益	345	138	149.9
ウォーターテクノロジー事業	333	256	30.3
ハウジングテクノロジー事業	182	46	294.6
ビルディングテクノロジー事業	△42	△37	—
流通・小売り事業	53	47	11.1
住宅・サービス事業等	18	14	30.1
(調整額)	△199	△188	—

売上収益内訳(当上期)



セグメント情報

ウォーターテクノロジー事業



国内



海外

INAX LIXIL RICHELLE SPAGE 

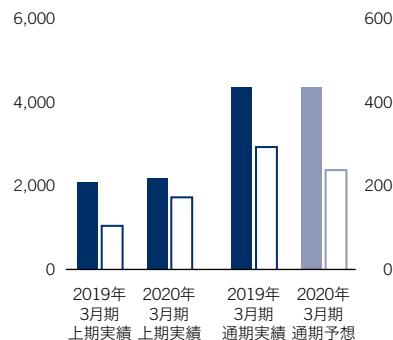
前期に続き好調な需要環境に支えられていることに加え、10月の消費税増税前のリフォーム需要増等の後押しもあり、売上収益は5.1%増収の2,187億円となりました。キッチン「リシェルSI」(写真)や洗面化粧台「ルミス」など中高級ゾーンの商品が特に好調でした。加えて継続的なコストダウンに伴う粗利益増加や、販管費のうち広告費の下期への後ろ倒しなどもあり事業利益は65.5%増益の172億円となりました。

米国は市場環境の変化で苦戦し減収ながら、販管費削減に努め増益となりました。欧州・中東・アフリカ地域では特に中欧・東欧の売上が伸びて増収増益となりました。アジア太平洋地域では中国の好調が続き、販管費抑制もあり、増収増益となりました。海外全体での売上収益はユーロ安に伴う為替換算影響で0.9%減収の1,921億円、事業利益は6.4%増益の162億円となりました。(写真：グローエのバスルーム)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ハウジングテクノロジー事業



TOSTEM LIXIL Interio exsior

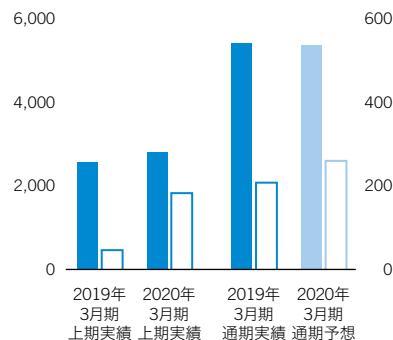
SUPER WALL  

国内における好調な需要環境及び新商品投入効果を背景に前年下半期より引き続きサッシ、エクステリア、インテリア建材(写真：ラシッサ)などの商品が伸びを示したことに加え、消費税増税前の需要増などもあり売上収益は8.6%増収の2,791億円となりました。増収効果に加えて商品ミックスの良化、価格改定効果などによる粗利益増加により、事業利益は3.9倍の182億円となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ビルディングテクノロジー事業



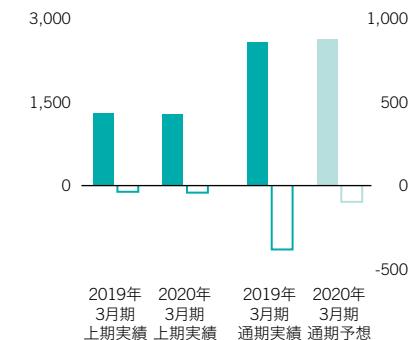
LIXIL 

国内事業は売上収益・事業利益ともほぼ横ばいでした。海外のペルマスティリーザ社は現地通貨ベースでは増収となったものの大幅なユーロ安に伴う為替換算影響による減少もあり、当事業の売上収益は2.1%減収の1,276億円となりました。ペルマスティリーザ社において過去に受注した低粗利益物件の影響もあり、事業損失は5億円悪化の42億円となりました。(写真：LIXILの中低層用カーテンウォール/フロント MLシリーズ)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



セグメント情報

流通・小売り事業

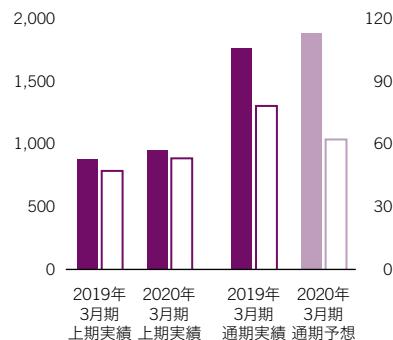


当上期はスーパービバホーム小田原国府津店(写真)など3店舗の新規出店効果に加え、引き続きリフォーム関連売上が堅調な伸びを示したこと、さらに消費税増税前の駆け込み需要等もあり、売上収益は8.4%増収の952億円となりました。リフォーム関連売上構成比は約40%を占め、中長期ではこの売上構成比50%を目指しています。事業利益は11.1%増益の53億円となりました。9月末の店舗数は99店となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

- 売上収益(左軸)
- 事業利益(右軸)



住宅・サービス事業等

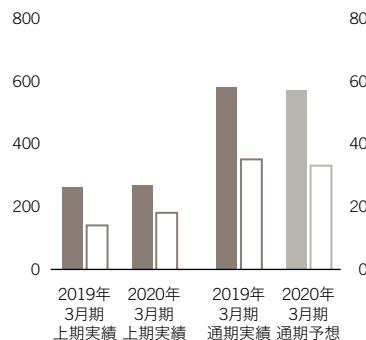


引き続き重点施策であるBtoCビジネスなどの新事業領域に注力したことに加え、非新築領域の伸長もあり売上収益は2.3%増収の268億円、事業利益は30.1%増益の18億円となりました。(株)LIXIL住宅研究所・アイフルホームの「Simple Life. ～見晴らしのあるリビングの暮らし～」は、子どもの安全・安心に配慮した設計や機能が評価され、第13回キッズデザイン賞を受賞しました。

売上収益・事業利益の推移

(単位: 億円)

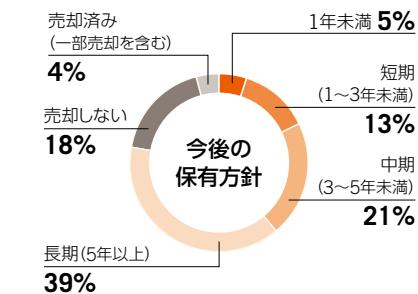
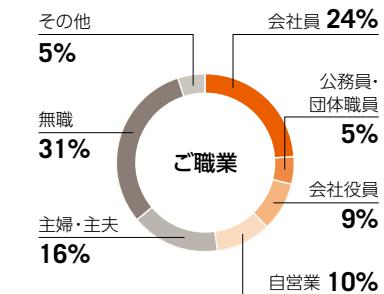
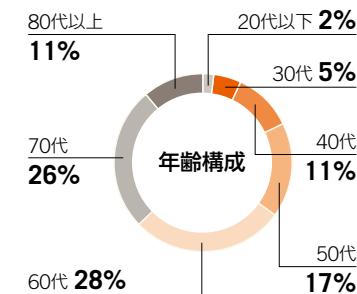
- 売上収益(左軸)
- 事業利益(右軸)



株主さまアンケート結果

7月に実施した株主さまアンケートでは、返信数21,266通、回答率35.1%と非常に多くの株主さまからご回答と貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。ご回答の集計結果の一部をご報告します。

1 ご回答者について



2 株主さまからのご意見・ご要望の一部をご紹介します。

経営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営トップの断続問題で市場を混乱させるのは、経営者として、失態ではないのか。本来のあるべき姿を描いて経営にあたっていただきたい。 ■ テレビで瀬戸氏のごことが放送され、良い会社という印象を持ち、株主になりました。しばらくして、突然社長をやめた、と聞いてその後事の成り行きをうかがってきました。いろいろあったけれど、これからは社員一丸となって会社を盛り立ててほしいと思う。 ■ 災害時のトイレやグローバルな衛生、環境保護への取り組みなど期待しています。
株価	<ul style="list-style-type: none"> ■ いろいろな問題含め、購入株価より大幅に下がっているの、早急に業績改善に向け、対策を実施してほしい。
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定した業績の向上と増配をお願いします。 ■ 株主優待がわかりづらい。 ■ 今後もぜひ継続してカレンダープレゼントを行ってください。

今回は、昨年10月末から今年6月の株主総会まで経営の混乱に対するお叱りの言葉を頂戴する一方、今後への期待のご意見も数多くいただきました。これらのご意見を経営に活かしてまいります。

株式の状況(2019年9月30日現在)

株式数および株主数

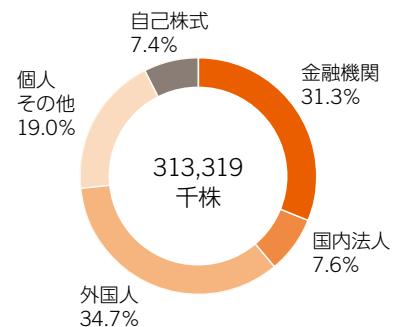
発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式23,215,635株を除く)	290,103,524 株
株主の総数	57,046 名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	17,912*	6.17%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	14,247*	4.91%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	10,796	3.72%
野村信託銀行(株)(信託口)	8,896*	3.07%
LIXIL従業員持株会	7,355	2.54%
第一生命保険(株)(常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	6,561	2.26%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	5,845*	2.01%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,612	1.93%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	5,122*	1.77%
JPモルガン証券(株)	4,513	1.56%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式23,215千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。

所有者別分布状況



金融機関	97,942千株
国内法人	23,831千株
外国人	108,819千株
個人その他	59,511千株
自己株式	23,215千株
合計	313,319千株

単元株未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへお知らせ

100株未満の株式をお持ちの株主さまが、株式を買い増して単元株にする、または株式を売却する際のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行 連絡先: 0120-232-711)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。

免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

会社概要

会社概要

(2019年9月30日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949(昭和24)年9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号 ※ 本事業所は、2019年11月に本店へ 移転しております。
資本金	68,418百万円
決算期	3月31日
従業員数	46名(連結従業員数 62,295名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境 関連事業を営む会社の株式または持 分を取得、所有することによる当該会 社の事業活動の支配、管理を行って おります。

執行役

(2019年9月30日現在)

代表執行役社長兼CEO	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	大坪 一彦
代表執行役副社長	松本 佐千夫
執行役専務	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
執行役専務	二瓶 亮
執行役専務	金澤 祐悟
執行役専務	ビジョイ・モハン
執行役専務	吉田 聡
執行役専務	大西 博之

取締役

(2019年9月30日現在)

取締役	瀬戸 欣哉
取締役	大坪 一彦
取締役	吉田 聡
取締役	川本 隆一
取締役	伊奈 啓一郎
社外取締役	松崎 正年
社外取締役	内堀 民雄
社外取締役	鬼丸 かおる
社外取締役	河原 春郎
社外取締役	カート・キャンベル
社外取締役	鈴木 輝夫
社外取締役	西浦 裕二
社外取締役	濱口 大輔
社外取締役	三浦 善司

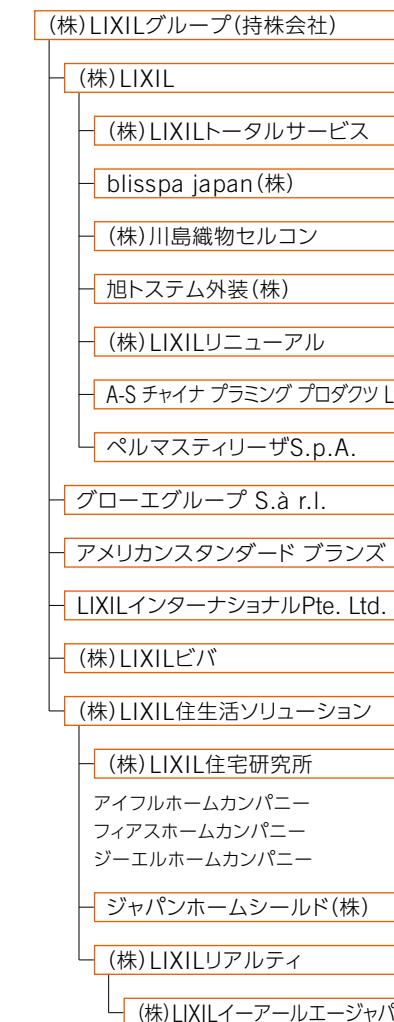
委員会構成

(2019年9月30日現在)

<指名委員会>	委員長	西浦 裕二
	委員	鬼丸 かおる
	委員	伊奈 啓一郎
	委員	河原 春郎
	委員	松崎 正年
<監査委員会>	委員長	三浦 善司
	委員	鈴木 輝夫
	委員	濱口 大輔
	委員	内堀 民雄
	委員	川本 隆一
<報酬委員会>	委員長	濱口 大輔
	委員	西浦 裕二
	委員	河原 春郎
	委員	三浦 善司

主なグループ会社

(2019年9月30日現在)



株主優待のお知らせ

1 リフォーム株主優待

「リフォーム株主優待申込書」を贈呈。株主優待対象商品を使ったリフォーム工事を行った上でお申込みくださった方へ、約2ヵ月後に商品券(JCBギフトカード)をお送りします。

2 生活サービス株主優待

ハウスクリーニング・衣類クリーニング・布団クリーニングに使える割引券を贈呈します。割引券は「株主優待制度 ご利用ガイド2019-20」の巻末にあります。

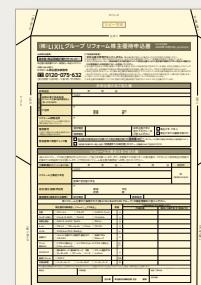
2019年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、「株主優待制度ご利用ガイド2019-20」と「リフォーム株主優待申込書」を本誌に同封しています。皆さまのご利用をお待ちしています。

※「リフォーム株主優待申込書」等の株主優待関連書類の再発行はいたしておりません。ご了承ください。

詳細は同封の「株主優待制度ご利用ガイド2019-20」をご覧ください。



リフォーム株主優待申込書 (A3サイズ 裏面は封筒面となっています。)



お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711
LIXILグループ：03-3638-9300

本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6706-7001

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ☎0120-179-400
- キッチン商品 ☎0120-190-521
- サッシ、ドア、エクステリア ☎0120-126-001

株式会社 LIXILグループ

本店：東京都江東区大島二丁目1番1号
ホームページ：<https://www.lixil.com/jp/>